

表1 都市雇用圏の数と人口 (1980-2000年)

	1980年	1990年	2000年
都市雇用圏の数	315	293	269
うち、大都市雇用圏の数	105	114	113
全国の人口 (A)	117,060,396	123,611,167	126,925,843
都市雇用圏の総人口	103,184,513	111,913,176	117,033,563
大都市雇用圏の人口	88,119,440	98,229,138	103,697,376
都市雇用圏の総人口/A	88.15%	90.54%	92.21%
大都市雇用圏の人口/A	75.28%	79.47%	81.70%

注：(1)「国勢調査」(各年)と金本・徳岡(2002)による筆者らの試算。(2)1980年の都市雇用圏の総数は317だったが、1980年の国勢調査のデータとうまく接合できなかったため、二つの小都市雇用圏北海道夕張市(1209)および栃木県桜村(8466)の38,682人がデータに含まれていない。

表2 地域間(完全)失業率格差の動向 (1980-2000)

地域数	年次	平均値	標準偏差1)	変動係数2)	最小値	最大値
a.市区町村別						
3390	1980	2.52	1.08	0.43	0.11	16.89
3391	1990	3.02	1.13	0.37	0.00	18.14
3383	2000	4.73	1.35	0.28	0.00	18.10
b.都市雇用圏別						
315	1980	2.60	0.89	0.34	0.87	9.99
293	1990	3.11	0.89	0.29	0.76	10.54
269	2000	4.83	1.01	0.21	2.27	11.47
c.都道府県別						
47	1980	2.47	0.72	0.29	1.23	7.68
47	1990	3.03	0.74	0.24	1.73	7.75
47	2000	4.67	0.86	0.18	2.96	9.37

注：1)各地域の15-64歳の労働力人口でウエイト付けした平均値と標準偏差。

2)変動係数 = 標準偏差 / 平均値

3)「国勢調査」(各年)より筆者らの試算値である。